

第 2 5 期貸借対照表

平成 2 5 年 3 月 3 1 日現在

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産】	[1,327,530,513]	【 流動負債】	[829,828,266]
現金及び預金	1,297,162,196	買掛金	7,767,036
売掛金	13,129,004	未払金	7,280,390
商品	4,567,081	未払法人税等	4,529,500
前払費用	1,531,043	未払消費税等	3,656,700
繰延税金資産	11,185,874	集金代行預り金	797,198,758
未収収益	33,315	預り金	2,042,882
貸倒引当金	78,000	賞与引当金	7,353,000
【 固定資産】	[87,925,939]	【 固定負債】	[14,368,067]
(有形固定資産)	(52,428)	退職給付引当金	14,368,067
器具・備品	52,428	負 債 合 計	844,196,333
(無形固定資産)	(217,700)	純 資 産 の 部	
電話加入権	217,700	【 株主資本】	[571,260,119]
(投資その他の資産)	(87,655,811)	【 資本金】	[30,000,000]
投資有価証券	82,299,800	【 利益剰余金】	[541,260,119]
繰延税金資産	5,286,011	(その他利益剰余金)	(541,260,119)
出資金	10,000	別途積立金	509,000,000
敷金	60,000	繰越利益剰余金	32,260,119
		【 評価・換算差額等】	
		その他有価証券評価差額金	0
		純 資 産 合 計	571,260,119
資 産 合 計	1,415,456,452	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,415,456,452

(注) 当期純利益

31,706,184 円

<個別注記表>

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 最終仕入原価法による原価法

仕掛品 個別法による原価法

その他有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のある有価証券

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

市場価格のない有価証券

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産 定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規程による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。

賞与引当金 従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び中退共の積立額に基づき、必要額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。なお、未経過リース料総額は、6,517,022円であります。

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 783,222円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 600株

以上